

ごあいさつ

4～5世紀ころの当地域は毛野国（けぬのくに・けのくに）と呼ばれていました。その後、渡良瀬川を境に現在の栃木県南部を下毛野国（しもつけのくに）、群馬県を上毛野国（かみつけのくに）と言うようになったと言われています。その中で、渡良瀬川両岸に広がる地域を両毛（りょうもう）と呼ぶようになりました。この地は古来から織物や鋳物の産地としても知られ、多くの職人・匠の技が引き継がれ、今ではさらに多岐の工芸作家が育っています。

そこで私たちは、両毛地域はもちろん全国のクラフト作家の「心と技」にふれ合う機会として、このクラフトフェアを開催します。私たちにとって初めてのクラフト展ですが、栗田美術館は伊萬里・鍋島専門の陶磁美術館であり、工芸のフェア会場としては極めて相応しいものと自負しております。

足利で初の開催ではありますが、私たちは作家・来場者・主催者の笑顔があふれて、長続きするクラフトフェアを築いていきたいと考えております。

どうか多くの作家の皆さまと、そして足利の来場者との交流が生まれますことを願っております。

※毛野国・毛の国（けぬのくに・けのくに）

毛とは穀物のとれる大地＝穀物や草木のことといわれる。

また織物を指すこともあって、この地は古来から織物が盛んであった。

足利クラフトフェア実行委員会

【応募要項】

条件

- ①出展者本人の制作物であること。他者からの委託品は不可です。夫婦・親子など生計を同一家族の共作（常時）は可。
- ②カルチャー教室などでの出展はできません。
- ③展示に必要なテント、台、テーブルなどを自分で用意できること。（一部室内展示スペース有り）
※貸しテント（有料）はあります。
※注意＝テントは必ずペグや重し、張綱などでしっかり固定して風対策を十分に施してください。（当地は“空っ風とかかあ天下”で知られています）
- ④名前、住所、連絡先、作品写真などを宣伝告知等に掲載可能なこと。
- ⑤期間中作者が常駐できること。

出展スペース

約 3.0m×3.0m

募集定員

約 100 名

応募方法

- ①「足利クラフトフェア」のホームページから事前登録してください。
登録が終了しますと登録番号が記載された自動返信メールが送られます。
（迷惑メールなどへ振り分けられる場合があります。ご確認ください）
- ②応募用紙をダウンロードし、必要事項と登録番号を必ず記入して郵送してください。
（A4サイズが折らずに入る封筒にしてください）
- ③インターネット環境のない方には応募用紙を郵送します。事務局へお問い合わせください（Tel. 0284-91-1026）

応募申込料

2,000円

下記口座にお振込みください。（入金後のキャンセルはできません）

振込票の控え（受領証）をコピーして応募用紙と一緒にお送りください。（原本は不可）

銀行名	支店名	口座種類	口座番号	口座名義
足利銀行	東支店	普通口座	5526238	足利クラフトフェア実行委員会 代表 栗田俊英

送付先

〒329-4217 栃木県足利市駒場町1542 栗田美術館内 足利クラフトフェア実行委員会

募集期間

2024年10月1日(火)～12月2日(月) ※消印有効 出展の可否は選考になる場合もあります。

出展料

10,000円

※選考結果は2024年12月末日までにお知らせします。

出展が受理された方は2025年1月15日までに出展料を指定の口座にお振込みください。（入金後のキャンセルはできません）

出展位置

あらかじめ7～8つのゾーンをつくり、事務局が出展者を振り分けます。各ゾーンごとに1名の実行委員がおりますので、相談しながら出展位置をきめてください。

その他

- ①有料テントの貸出し（1出展1張/指定場所に事前設置されています）
【サイズ】3.0m×3.0m：25,000円
- ②紙製品・布など屋内展示を希望の場合 約2.7m×2.7m 25,000円
※上記①②とも出展料にプラスしてお振込みください。
- ③当日は雨天決行。ただし荒天のときは中止とする場合もありますが、申込料や出展料、テント料などの返金はいたしません。
- ④当日は会場内指定場所での車中泊も可です。（事前申込）

問い合わせ

Tel. 0284-91-1026 （栗田美術館内 足利クラフトフェア実行委員会）



栗田美術館
http://www.kurita.or.jp



足利クラフトフェア
https://ashikaga-crafts.com